

様式第3号 (第1項関係)
經理基準

行政視察報告書

平成30年7月4日

□開示 □一部開示 / □不開示 (理由: 条例第 条第 号 該当)						
□時限不開示 (開示: 年 月 日)						
議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	

会派名 創生クラブ
代表者氏名 高澤公
又は議員氏名

1 視察議員名
高澤公 大滝豊 中村実

2 視察期間
平成30年7月4日 (水) 1日間

3 視察先
衆議院第一議員会館 (観光庁 地域資源活用推進室)

4 視察目的
糸魚川におけるインバウンドの今後の取り組みについて

5 視察の概要

日本における外国人旅行者の受け入れ数は世界で16位と年々増加し、今後どのように地方に誘客させるかが観光庁の取り組みである。

本市においても、ガイドの育成・宿泊施設の確保・価格設定・地元食材の活用・土産の開発・多言語版予約サイトの情報発信など多くの課題が見え、本市でなければ体験できないメニューづくりを行う必要がある、観光庁と話をする中で、明星山のロッククライミングなど観光客向けではなく特別感のある自分だけの体験が出来るツアーを考える必要があると言う。観光庁では環境省・文化庁と連携した地域観光資源の多言語開設整備に取り組み、英語のネイティブライター等を地域に派遣し、解説文の作成を支援し最先端技術も駆使しながら魅力ある観光ストーリーの発信支援を行う。本市でもこの取り組みを利用し、マーケティング調査を行う必要を感じた。

なお、滝川議員においては、妻が前日より体調不良のため政務調査のキャンセル依頼があり、3名での調査となりました。

